

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-2	4-1-2		事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業
担当	都市局開発事業部調整担当課 大澤 Tel211-2721 環境局みどりの推進部みどりの推進課 湯浅 Tel211-2522				
全 体 計 画					
事業内容	都心からわずか7kmに位置し、モエレ沼公園が近接するなどの恵まれた立地条件を生かした東雁来第2地区(愛称 ウェルビア”ひかりの”)において、土地区画整理事業による公共施設整備と持続可能なまちづくりの着実な進展を図る。		＜年度別の事業内容＞		
	特に平成19年度から平成22年度においては、サッカー場2面を備えた東雁来公園等の整備を核に、「みどり豊かな美しい街づくり」を進める。		○平成19年度 ・地区公園実施設計 ○平成20年度 ・地区公園整備 ○平成21年度 ・地区公園整備、街区公園整備 ○平成22年度 ・地区公園整備、街区公園整備		
事業内容 ・ 量 ・ 場 所 ・ 規 模 ・ 件 数 等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	○地区公園実施設計 地区公園(東雁来公園 7.63ha)の実実施設計を行った。 主要施設 ・サッカー場 人工芝2面 ・便益施設 車椅子対応トイレ2か所、駐車場など ・休養施設 パーゴラ、ベンチなど ・遊戯施設 プレイロット、冒険遊び場など ・パークゴルフコース 9ホール ・周遊園路		○地区公園整備 地区公園全体7.63haのうち、平成20年度はサッカー場2面の整備を行った。 施工面積 2.9ha ・敷地造成工 切盛土 ・園路広場工 人工芝舗装(18,400㎡) ・給水工 散水栓、水飲台 ・雨水排水工 暗渠管、U字トラフ ・管理施設工 樹脂ネット		
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
	○地区公園整備 地区公園全体7.63haのうち、平成21年度は外周の植栽等を行った。 施工面積 1.6ha ・植栽基盤工(土性改良工、表土盛土工) ・植栽工(高木100本、中低木600株、地被類1式) ・雨水排水工(管渠工、集水枘工) ・汚水排水工(汚水枘工)		○地区公園整備 地区公園全体7.63haのうち、平成22年度は基盤整備等を行う予定である。 施工面積 2.8ha ・敷地造成工(流用盛土、法面整形工) ・植栽基盤工(土性改良工、表土盛土工) ・植栽工(高木植栽工、中低木植栽工、地被類植栽工、根囲い保護工)		

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-2	4-1-2		事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
土地活用率(地区内において宅地建設など土地の利用が図られた割合)	19%	22%	26%	28%	30%	30%	
公園・緑地面積	1.4ha	1.4ha	2.4ha	6.3ha	6.3ha	10.0ha	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 地区公園の整備を進めるにあたっては、計画段階から周辺町内会との意見交換会や計画内容を記載したニュースレターの発行を通じて、市民意見の反映や情報提供を行った。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
平成20年度事業で、計画どおり人工芝サッカー場2面の早期整備を行い、平成21年9月に開催された「ねんりんピック 北海道・札幌大会」のサッカー競技会場に活用した。 また同大会への会場提供で、ウエルピア”ひかりの”のイメージアップが可能となった。			ウエルピア”ひかりの”の「水と緑」のまちづくりテーマを具体化する拠点施設として、他の公園や緑地とのネットワーク化を図りながら整備を進める必要がある。 東雁来第2土地区画整理事業による街づくりにおいては、保留地の処分や、地区内の重点整備地区の土地利用の具体化が、今後の事業の執行や街づくりの推進に大きく影響することになる。 そのためにも、街づくりを推進するための施策の実施や積極的な広報展開、利便施設等の誘致や交通アクセスの早期改善が求められている。				
今後の事業の予定・方向							
地区公園の整備は平成20年度から平成24年度まで継続して行い、引き続き近隣公園(雁穂公園 2.0ha)や街区公園、緑地の整備も併せて行なうなど、区画整理事業の進捗状況に合わせて平成29年度の事業終了まで、「みどり豊かな美しい街」の拠点となる公園緑地の整備を着実に進めていく。 また、東雁来第2土地区画整理事業による街づくりにおいては、今後も、道路や宅地造成などの面整備が進む。そして、事業推進の要となる重点整備地区内の大区画保留地の分譲を段階的に行う計画となっており、「みどり豊かな美しい街」の実現に向けて着実な事業の執行や施策の展開を図っていく。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-2	4-1-2	事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業		
事業費の推移							
		項目	19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費		14,000	575,000	379,900	508,100	1,477,000
	財源内訳	国・道支出金	7,000	250,000	117,000	175,000	549,000
		市の債	6,000	270,000	217,000	279,000	772,000
		その他					0
	一般財源	1,000	55,000	45,900	54,100	156,000	
予算	事業費		14,000	415,000	149,000	140,000	718,000
	財源内訳	国・道支出金	7,000	200,000	57,000	50,000	314,000
		市の債	6,000	187,000	51,000	72,000	316,000
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,000	28,000	41,000	18,000	88,000	
実績	事業費		14,000	399,000	149,000	-	562,000
	財源内訳	国・道支出金	7,000	193,000	57,000		257,000
		市の債	6,300	179,000	51,000		236,300
		その他	0	0	0		0
	一般財源	700	27,000	41,000		68,700	
事業費の進捗率			(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				47.5%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》 地区公園整備については、当初計画では平成20年度にサッカー場2面と周辺施設を含む南側エリア3.6haの整備、平成22年度に北側エリア4haの整備を予定していたが、北側エリアの基盤造成の進捗と地盤安定を考慮し、南側エリアは平成20年度～21年度、北側エリアは平成22年度～24年度に整備スケジュールを変更することとした。							
[19年度] 計画との差異はない。							
[20年度] 南側エリアの造成スケジュールを平成20年度～21年度の2ヵ年としたため、平成20年度は事業費が減額になった。							
[21年度] 計画との差異はない。							
[22年度]							